

# 図書館だより

2007年7月30日発行 第2号  
名寄市立大学・市立名寄短期大学  
図書館運営・大学広報委員会  
Eメール：library1@nayoro.ac.jp

## ＝ 「養老孟司」氏・著作本のご紹介 ＝

7月18日(水)～25日(水)まで、本学図書館本館で「養老孟司著作本・ミニ展示会」を開催致しました。昨年3月に、養老孟司先生ご自身から、サイン入りの本を多数本学図書館へ寄贈していただきました。その他、以前から図書館で所蔵していたものもありますので、その一部をご紹介しますと思います。夏期休業中にじっくり読んでみてはいかがでしょうか。

### < 哲学 > 【論文集・評論集・講演集】104 【人間科学】114 【人生訓・教訓】159

『無思想の発見』(筑摩書房、B104-Y、本館)、『死の壁』(新潮社、B114.2-Y、本館)、『人生の疑問に答えます』養老孟司、太田 光 著(日本放送出版協会、159-Y、本館)

### < 社会科学 > 【論文集・評論集・講演集】304

『バカの壁』(新潮社、B304-Y、本館)、『超バカの壁』(新潮社、B304-Y、本館)、『バカの壁をぶち壊せ！正しい頭の使い方』日下公人、養老孟司 著(ビジネス社、304-Y、本館)、『涼しい脳味噌』(文藝春秋、B304-Y、本館)、『まともな人』(中央公論社、B304-Y、本館)、『こまった人』(中央公論社、B304-Y、本館)、『毒にも薬にもなる話』(中央公論新社、B304-Y、本館)、『話せばわかる！養老孟司対談集 身体がものをいう』(清流出版、304-Y、本館)など。

### < 自然科学 > 【医学】490 【基礎医学】491 【外科学】494

『脳の見方』(筑摩書房、B490.4-Y、本館)、『解剖学教室へようこそ』(筑摩書房、491.1-Y、本館)、『唯脳論』(筑摩書房、B491.371-Y、本館)、『脳がわかれば世の中がわかる すべては、ここに始まる』(光文社、B491.371-Y、本館)、『バカなおとなにならない脳』(理論社、J491.371-Y、本館)、『スルメをみてイカがわかるか!』(角川書店、B491.371-Y、本館)、『命と向き合う 老いと日本人とがんの壁』中川恵一、養老孟司、和田秀樹 著(小学館、494.5-I、本館)など。

### < 芸術 > 【漫画・挿絵・童画】726

『マンガをもっと読みなさい 日本人の脳はすばらしい』養老孟司、牧野圭一 著(726.11-Y、本館)など、その他多数。

# 夏期休業中・実習中、「長期貸出」できます！

※ 詳しくはお近くの図書館職員にお尋ねください。

緊急！

あなたが本を  
返却するのを、  
待っている人がいます！

図書館から借用している返却期限の越えた本・雑誌・視聴覚資料を至急返却してください！！

まだまだあるよ！

### 『新着図書』です……。

- 『夜回り先生の「子どもたちよ！大人たちへ」』水谷 修 著(朝日新聞社、367.68-M、本館)
- 『新版・社会福祉学習双書2007』全17冊、「新版・社会福祉学習双書」編集委員会 編(全国社会福祉協議会、369.08-S-2007-1~17、恵陵館)
- 『保育士養成講座』全11冊、改訂・保育士養成講座編纂委員会編(全国社会福祉協議会、376.14-S-2007-1~11、本館)
- 『外国人力士はなぜ日本語がうまいのか あなたに役立つ「ことば習得」のコツ』宮崎里司 著(明治書院、810.7-M、本館)
- 『首都圏の水があぶない 利根川の治水・利水・環境は、いま』岩波ブックレット No.706、大熊 孝、嶋津暉之、吉田正人 著(岩波書店、517.213-S、本館)
- 『大学図書館がゼロからわかる本 学生のための図書館活用法』大野友和 編(日本図書館協会、017.7-0、本館)
- 『おいしいハンバーガーのこわい話』エリック・シュローサー、チャールズ・ウィルソン 著、宇丹貴代実 訳(草思社、J498.5-S、恵陵館)等。HP蔵書検索→新着案内でも見ることができます。

# この本を読もう！！



保健福祉学部看護学科

上野 美代子 先生より

## 『医師の死角、患者の死角 –もっと豊かな医師患者関係のために–』

西寺桂子著 現代医学出版、2007年3月発行 → 現在図書館で発注中です

他に『病院が、変わり始めた』西寺桂子著、照林社、2003年10月発行、498.16-N（本館）があります。

非常に興味深いテーマであり、医療関係者もそうでない人も、ぜひ一読されたい、おすすめの本である。看護の専門性についても鋭い記述があり、医師についても患者についてもかなり辛らつに、しかもユーモラスに、事実に基づいた記載が満載であるが、私は患者の立場で楽しく読み進んだ。

かつての「先生にお任せします」「お任せください」といった医師—患者関係が患者の自立を妨げてきたが、今や患者は自立（自律）しなければならない、という主張がある。

患者は自分が受ける検査・治療について医師から受けた情報をよく咀嚼して考え、医師と相談しつつも、他人まかせにしないで決断する、自立した患者になることが肝要と、著者自身の戒めを込めて記している。

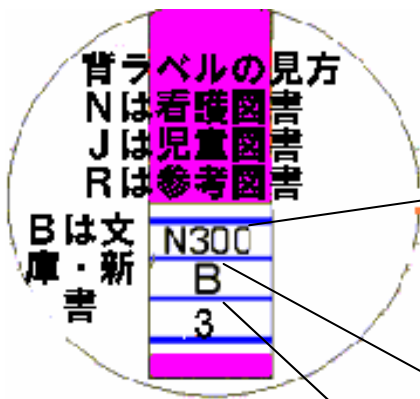
「医師—患者がよいコミュニケーションを保ち信頼関係を築いていけば、よりよい医療に繋がる」という結びでは、大きく頷いて納得してしまった。

## ～図書館まめ知識～

知っていますか？図書館の表ワザ・裏ワザのイロイロ・・・。

図書館を利用する際に、覚えていると役立つことをご紹介します。〈本学図書館の場合〉

〈請求記号について〉 資料が配架されている位置を示す記号。背ラベル。



分類番号：本館は、NDC（日本十進分類法）に則って分類をしています。分類表は、館内に掲示してありますので参考にして下さい。

なお、Nは看護図書、Jは児童図書、Rは参考図書、Bは文庫・新書、となっています。また、RNは看護の参考図書、RJは児童の参考図書、BJは児童図書の文庫・新書となっています。

美術書・料理書などの大型本は別置していることもあります。

例 498.53→食品化学、369.26→老人福祉、N211→日常生活の援助の技術

著者記号：主に著者、編者の頭文字です。本館はローマ字読みをアルファベットで表しています。場合によっては、書名、シリーズ名を表すことがあります。

例 養老 孟司→Y、J.K.ローリング→R（姓と名が逆になる）など

巻冊記号：その本の巻・号数を表しています。



その他、ピンクの丸いシールは絵本を表しており、その中に表示されているアルファベットは、著者記号（絵本の場合は、絵の作者で表示）となっています。

本棚の並べ方も決まりがあります。図のように各段左から右へというように並べられています。自分の探している本を、すばやく見つけるコツがココにあるのですよ！

図書館へのリクエスト(図書・要望など)お待ちしております。